

提 案 概 要

実施期日	7月31日(金)
部 会 名	中学校 技術・家庭科(技術分野)部会

1 提案テーマ 『設計の場면을重視した授業づくり』～工夫し創造する能力を育むために～

2 題材 D 情報に関する技術

3 学年 第3学年

4 平成27・28年度神奈川県中学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

- ① 3学年間を見通した指導計画, 評価計画の作成と学習指導の工夫
・実践的・体験的な学習活動, 問題解決的な学習, 言語活動の充実をめざした学習指導の工夫

5 学習指導要領との関連

第2章 第8節 技術・家庭 第2 各分野の目標及び内容 [技術分野] 2 内容

D 情報に関する技術 (2)デジタル作品の設計・制作

ア メディアの特徴と利用方法を知り, 制作品の設計ができること。

イ 多様なメディアを複合し, 表現や発信ができること。

6 実践に向けての課題意識

デジタル作品の制作において、生徒が日頃から接している機器であるコンピュータを使う場合、それほど苦手意識もなく、他の題材でつくる作品よりも完成度の高い制作活動が可能であると考えます。しかし、コンピュータを使うことにより、その場その場での変更や修正が容易にできてしまい、ものづくりにおいて重要な「設計」の場面がおろそかになる可能性があります。

そこで、「設計」の場면을重視し、より良い作品づくりができるよう、言語活動を行い、他者の意見を取り入れることで、学習プロセスの段階で一人ひとりが工夫し創造する能力を育むことを目的とした。

7 実践の概要

平成26年度の第3学年の授業実践を報告する。技術分野の最後の題材である本実践は、動画編集ソフトウェアを用いて、「3年間のありがとう」をテーマに、デジタル化の方法や個人情報の保護などについて考えさせながら、「設計」の場면을重視し、授業を進めた。

紙の設計図(ワークシート)に鉛筆で書かせることで、じっくりと自分の作品を考えさせた。また、完成度を高めるために付せんを用いてほかの生徒と意見を交換しながら良い点、改善点を探っていくことで、設計図をていねいに作り、作品の制作に臨めるようにした。

8 成果と課題

「設計」の場면을重視したことで制作しようとする作品が明確になり、スムーズに作業を進めることができた。デジタル作品の制作においても、設計の必要性を知ることができた。

制作時に、デジタル化の方法や個人情報の保護などについての学習に対するチェックシートや完成した作品の発表場面でのチェックシートのあり方、言語活動前後の記述内容の変化の見取り方などについて、さらなる研究が必要であると考えます。

9 予想される協議の柱

- ・デジタル作品の題材について (どのような作品を制作しているか)
- ・「D 情報に関する技術」において、言語活動をどのように取り入れていくか